

● 不登校特例校の整備を

大阪市は、小中学校の再編整備で生み出された余剰キャンパスを活用し、不登校特例校（学習指導要領にとらわれず、不登校生の実態に配慮した特別な教育課程をもつ学校）を整備する方針を打ち出しました。いじめを理由に転校を余儀なくされ、また長期間学校に登校できていない児童生徒が市内にはいます。多様な学びの場を提供する事をめざし、2016年夏、私は同僚議員と一緒に、不登校特例校である「京都市立落風中学校」を視察しました。ようやく大阪府内でも特例校整備が動き始めました。堺でも不登校特例校の整備を進め、子どもたちの多様な学びの場を提供していくよう求めています。



● 堺ベースボールキャンプを開催

少子化の進展により、野球競技人口も減少しています。私は、体を動かす楽しみや喜びを通じて、野球をはじめとするスポーツと親しんでいただく事を目的に設立された「堺ベースボールキャンプ」の顧問に就任しました。令和3年度リーグ優勝を果たしたチームからお2人のプロ野球選手を原池公園野球場にお招きし、野球教室などを開催しました。議員として、あらゆる機会を通じ、堺っ子の育ちと学びを応援していきます。



● 三池炭鉱炭塵爆発慰霊祭に出席

戦後最大の労働災害事故「三井三池炭鉱三川坑炭塵爆発事故」から58年を迎えた11月10日、私は福岡県大牟田市で開催された慰霊祭に出席しました。当時を知る方がごあいさつで「企業は石炭を見て、人を見てこなかった」と仰いました。多様な働き方のかけ声のもと、働く人がないがしろにされている現代に通じるものがあると感じています。格差の拡大が叫ばれて久しいですが、不平等な社会は、地域社会の不安定化をもたらします。歴史からしっかり学び、地域から公正で安心できる社会を創り出していく取り組みを、前へと進めて参ります。



● 堺市を代表し、政令指定都市要望に参加

堺市を代表し、令和4年度政府予算の編成に向けた、制度政策要望を国会で行いました。私は、超高齢時代に突入した泉北ニュータウン選出の議員として、特に「介護認定のあり方」について意見を申し述べました。政府は、「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」を介護保険の基本方針に掲げていますが、現状では、軽度の在宅高齢者の介護度が正しく判定されていません。自治体議員として、見聞きしている現場の声をお伝えし、改善を求めました。今春、初当選から15年を迎えます。国に対してもビシッと発言していきます。



編集発行 **小堀セイジ事務所**
〒590-0117 堺市南区高倉台2丁19-17
TEL 072-292-8619
FAX 072-292-8679
mail koboriseijioffice@gmail.com
https://kobori.cdp-osaka.jp/
Twitter @seijikobori



「聞く・伝える」は議員の基本です。
ぜひ、みなさまのお声をおきかせください。



堺市議会議員 小堀セイジ 市政報告
SEIJI REVIEW Vol.79

堺市議会議員 4期目

小堀セイジ



～プロフィール～

■堺市立高倉台小 ■堺市立三原台中 ■大阪市立扇町高校
■オーストラリア国立ディーキン大学 ■大阪市立大学大学院

●市民人権委員会委員 ●大都市制度広域行政調査特別委員会委員
●堺市地域包括ケアシステム審議会委員 ●堺市住宅まちづくり審議会委員 ●堺市同和行政協議会委員

寒中お見舞い申し上げます

ダイヤモンドプリンセス号の入港により、国内で新型コロナウイルスの感染が確認されてから早2年が経過としています。堺市はコロナ禍の中、財政難を理由に、「おでかけ応援制度」や「泉北高速鉄道通学補助」など、市民サービスの切り捨てを推し進めています。私は、コロナ禍の中、しんどい思いをしている市民に寄り添う姿勢を市は示すべきだと考えます。

変異ウイルス「オミクロン株」の動向も注視し、ワクチン未接種者が多い学校園などで感染が疑われる場合、幅広く対象者へのPCR検査を迅速に行える体制の構築を求めています。まだまだ寒い日が続きますが、ご自愛下さいますようお願い申し上げます。

● おでかけ応援制度対象年齢引き上げ案を否決

市は高齢者を取り巻く社会情勢の変化や他市の類似事業の状況を踏まえ、おでかけ応援制度の対象年齢を段階的に現在の65歳から70歳に引き上げる提案を市議会に行いました。私は、市議会でも反対の急先鋒に立ちました。その理由は、永藤市長の公約違反であると同時に、議会での私とのやり取りの中で、市長は「拡充」を明言していたからです。市は見直しに併せ、高齢者の健康増進施策の充実を市議会で約束してきました。しかし具体的な施策は何ら示されていません。広く市民からの意見を聴取するパブリックコメントでは、8割を超える否定的な意見が出されているにも関わらず、市としてその回答を取りまとめるより先に、市は結論ありきで改正案を市議会に提出しました。私は、市議会を軽んじ、市民の意見に耳を傾けない姿勢を厳しく非難し、議案の撤回を要求しました。堺市議会は、12月21日市長提案を否決しました。

● 泉北高速鉄道（乗り継ぎ）通学定期補助制度の存続を

市は財政危機を理由に、3月末をもって泉北高速鉄道通学費負担軽減事業の廃止を打ち出しました。その理由に、市は通学定期代の助成では、泉北への子育て世代の誘導・定住が促進されてこなかったことをあげています。人口減少時代、子育て世代の誘導・定着をめざすのであれば、通学定期代の助成のみならず、都心へのアクセス向上（泉北ライナーへの自由席車両の連結や大阪メトロ御堂筋線との乗り継ぎ易さを視野に入れたダイヤ改正など）、魅力ある住宅の供給などが求められています。これらの取り組みをなおざりにしたまま、財政難を理由に、補助制度を廃止するなど容認できません。市のこれまでの交通・住宅政策に対する取り組み姿勢に手厳しい批判を加え、再考を促しました。



堺市新型コロナワクチン接種コールセンター
電話 0570-048-567 ※IP 電話等からの場合 072-256-4140 FAX072-275-5288

議員活動のご報告



地域会館の整備について

近年、地震が多く、ご心配の声を多くお聞きしています。識者は、「地震の活発期に入った可能性」を指摘しています。いざといったとき、頼りになるのは、隣近所のつながりです。市は、地域活動の拠点である地域会館の整備補助制度を有していますが、補助金額は建て替え整備については平成2年、大規模改修については平成10年から一度も見直しがなされず、物価の上昇なども盛り込まれてきませんでした。私は地域負担の軽減に繋げ、更なる地域コミュニティの活性化を期待し、物価上昇を盛り込んだ補助金額の引き上げを強く求めています。



堺公園墓地について

市は、財政状況を理由に、指定管理者制度を霊園・霊堂に導入する方向性を示しました。私は、指定管理者制度の導入により、これまでご要望の多かった墓参代行や、公園墓地への交通アクセス網の拡充などが期待できると考えています。堺公園墓地は、長年地元の方々の手により維持管理がなされてきました。私は、長年お世話頂いた地域の方々の雇用継続を条件に、指定管理者制度を導入するよう求めました。

旧原山台東小学校の跡地について

市は、旧原山台東小学校のグラウンド部分を売却する方針を打ち出しました。市教委は、旧原山台・旧原山台東両小学校の再編については、すべての学年でクラス替えが可能となる規模をめざし、地元地域のみなさまのご協力を仰いできました。しかし、跡地活用については、地元地域に対し丁寧な説明を行わず、売却を決めたことを厳しく批判しました。市から反省の弁がありましたが、同じ過ちを繰り返さない様求めました。

農のある暮らし～フォレストガーデンを活かそう～



市は、財政難を理由に、フォレストガーデンと併設する市民菜園の廃止を検討してきました。私は、「農のある暮らし」は泉北の大きな魅力であり、存続するよう強く申し入れてきました。今般、市は市民菜園の存続を表明し、「使用区画の決定方法」や「複数区画の使用希望」など、利用者の声に積極的に耳を傾けていく姿勢を示しました。また長年にわたり、地元のみなさまがお世話を下さり、素晴らしい菜園や里山を保全できたことを嬉しく思います。来年度から、新たな指定管理者に運営をお願いすることになりますが、これまでの維持管理水準をしっかりとらいつつ、新たにドッグランなどの集客施設の整備、朝市や収穫祭などを実施し、農福連携をはじめとする、多様な世代が農と親しめる施設とするよう求めています。また、隣接する「堺自然ふれあいの森」とも連携し、里山の保全にも力を尽くすよう求めています。コスト一辺倒ではなく、多様な世代の活躍の場として活かし、自然との触れ合いなど、数値化できない多様な価値を認める様求めています。

水道メーター検針・料金収納等業務について

市は来年9月末から、向こう5年間の水道メーター検針・料金収納業務を民間事業者へ委託することを視野に、最大で42億7200万円の予算を計上しました。市職員が検針や料金収納を行ってきた時代と比較すると、経費節減には繋がりますが、業務委託が結果的に官製ワーキングプアを作り出す事のないよう求めています。具体的には、受託企業による正社員登用の年齢制限の撤廃（現行は38歳以下）や検針業務に従事する労働者の待遇改善を求めています。また、検針事務を通じて、水道料金の支払いにも困難をきたしている生活困窮者を行政の支援窓口へ繋げていく役割を果たすよう求めています。

住まいは権利～住宅のセーフティネットの構築に向けて～

泉北ニュータウンに団地を多く持つ大阪府は、「民間賃貸住宅での住宅セーフティネット機能の拡大等を確認しつつ、公的賃貸住宅の量的縮小」との方針を打ち出しました。私は、府の方針は、公的役割を放棄するに等しいものだと考えています。泉北には建て替えが遅れている団地、今後の方針が未だに示されていない団地があります。良質で低廉な家賃帯の住宅を供給するのは、行政の責務です。地元市として、大阪府や住宅供給公社などに対し積極的に働きかける様求めています。

ビッグバンと泉ヶ丘公園～創造的に遊びながら学べる拠点へ～

宇宙船を模した旧大阪府立ビッグバンの引き継ぎについて、議論を重ねてきました。市立施設として引き継ぐにあたり、コンセプトを「空想の宇宙」から、「本物の宇宙」へと変え、遊びながらサイエンスに興味を持っていただける施設とするよう求めてきました。今般、市はビッグバンのテーマを「宇宙を知り未来を創造する」と決めました。私は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）と市が連携協定を締結し、協力していくよう求めています。科学立国ニッポンの一翼を担う人材が、この地から輩出されることを期待しています。ビッグバン横に整備される泉ヶ丘公園では、須恵器などの窯跡群やニュータウン造成前からの豊かな自然を活かす方向性が確認されました。私は、古墳時代に起こった「やきもの革命」の起源の地であることを念頭に、モノづくりスピリッツを次代に伝えるため、陶芸体験や、斜面を活かしたすべり台の整備などを求めています。堺っ子が、しっかり遊びながら、学べる環境づくりに力を注いでいきます。



全小学校への生徒指導主事の専任配置を

初当選以来、いじめ、不登校などの諸課題に対応するため、市内全中学校への生徒指導主事の専任配置を求め、これを実現してきました。小学校においても、生徒指導上の課題に迅速に対応できるよう、生徒指導主事の専任配置を求めています。私の求めに応じ、専任配置小学校の数は増加傾向にあります。「人への投資」に軸足を置き、全小学校への専任配置を行うよう求めています。



医療的ケアが必要な子どもに支援を

令和3年、医療的ケアを必要とする児童生徒は市内で9名おり、これらの児童生徒へのケア及び生活介助業務を担う看護師が市内に8名配置されています。しかし、医療的ケア看護師の処遇はその仕事内容に見合うものではなく（初年度の時給1,303円）、故に必要な看護師の確保ができず、業務委託を行っている状況です。全ての子どもたちの育ちと学びを応援していくため、早急な処遇改善を求めています。



投票はあなたの声～主権者教育の推進を～

10月末に行われた衆議院議員選挙では、若年層に影響のある著名人が投票を呼びかける「ボイスプロジェクト 投票はあなたの声」が話題となりました。コロナ禍の中、格差の広がりや固定化が進んでいます。私は若年層のみなさんに主権者として、積極的に政治へ参加してほしいとの願いから、堺市立小中学校において主権者教育を実施するよう選挙管理委員会に求め、前向きな回答を得ました。小中学校との連携により、主権者教育が進むよう期待しています。

